HRMOS 勤怠

クラウド勤怠管理システム **ハーモス勤怠** by IEYASU

新機能のお知らせ

2021年06月 ~ 2021年12月



サービス概要と本資料の目的

HRMOS勤怠は、1,000社以上のサポート経験で培った人事・労務の専門ノウハウが詰まったクラウド勤怠管理システムです。無料プランをご用意しているため、初期費用・月額費用 0 円で、人数や期間に制限なくご利用いただくことができます。残業管理、有給休暇管理、36協定時間超過レポート等のレポート・グラフも充実しており、勤怠実績をわかりやすく可視化することも可能。HRMOS勤怠は、アナログで煩雑な勤怠管理をなくし従業員の生産性向上を後押しします。

【関連リンク】

- 公式サービスサイト
- <u>公式YouTubeチャンネル</u>



HRMOS勤怠は、ご利用中の皆様からのご要望をもとに新機能の開発や機能改善を行なっております。 本資料では以下の期間にリリースした新機能についてご紹介いたします。

本資料のリリース対象期間 | 2021年6月 ~ 2021年12月

新機能一覧

- 勤怠承認画面から複数人の勤怠を一括承認可能に
- 夜勤打刻
- 1年単位の変形労働時間制に対応
- オリジナル時間帯集計
- 週44時間集計に対応
- 派遣先の勤怠データを自社(派遣元)勤怠へ自動反映
- クライアント先の勤怠データを自社の勤怠へ自動反映
- 完全週休2日制のフレックスタイム制に対応
- 固定IPアドレスによるアクセス制限
- システム管理者の「二段階認証」に対応
- 日次勤怠画面から派遣先(クライアント)担当者への申請が可能に
- 2022年1月1日施行の改正電子帳簿保存法に対応



勤怠承認画面から複数人の勤怠を一括承認可能に

「勤怠承認」画面を以下の通り変更しました。

- ・勤怠承認画面から、選択した日付の被承認者(部下)の日次勤怠を一括承認できる
- ・変更前に「勤怠承認」画面に表示されていた月締承認画面は「月締状況レポート」へ移動

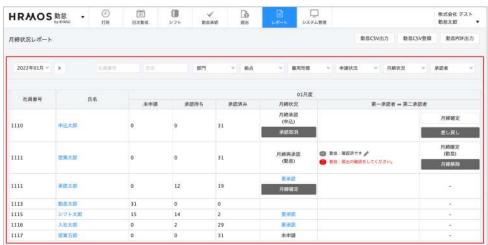
変更後の「勤怠承認」画面

日次勤怠承認を行うために、従業員1人1人の日次勤怠画面を表示させる必要がなくなり、この画面から被承認者(部下)の日次勤怠の一括承認ができるようになります。



変更後の「月締状況レポート」画面

「月締状況レポート」は上部メニュー「レポート」から確認することができます。本変更から約半年~1年の間は「勤怠承認」画面に「月締状況レポート」へ遷移するリンクを掲載しています。



本機能の詳細はこちらのリンクよりご確認ください >> 【機能改善】勤怠承認画面の変更で複数人の勤怠を一括承認できるようになります

夜勤打刻

以前のHRMOS勤怠では、「打刻日付切替時刻」や「退勤調整時刻」を過ぎてしまった場合、次の日の勤怠に切り替わってしまうため「夜勤明けの退勤打刻ができない」という状況が発生していました。 機能改善により、翌日の勤怠に切り替わる時刻を過ぎてしまっても、前日の勤怠として退勤打刻が可能になりました。

【機能改善前 設定例】



- 1日1回のみ打刻
- ・打刻日付切り替え時刻 5:00
- ⇒5:00を過ぎた時点で翌日の打刻画面に切り替わってしまうため、 5:00以降は夜勤明けの退勤打刻ができない

【機能改善後 設定例】

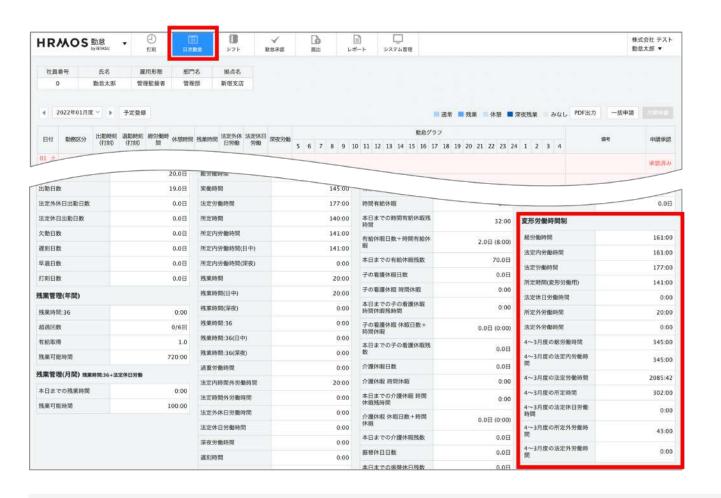


- ・1日1回のみ打刻
- ・打刻日付切り替え時刻 5:00
- ・夜勤打刻 チェックボックス「表示する」
- ⇒打刻画面のチェックボックスにチェックを入れると、 を勤明けの退勤打刻ができるようになる

本機能の詳細はこちらのリンクよりご確認ください >> 【新機能】夜勤打刻機能をリリースしました

1年単位の変形労働時間制に対応

これまで可能だった「1ヶ月単位の変形労働時間制」の集計に加え、「1年単位の変形労働時間制」にも対応できるようになりました。



「1年単位」の集計項目

- 対象期間の総労働時間
- 対象期間の法定内労働時間
- 対象期間の法定労働時間
- 対象期間の所定時間
- 対象期間の法定休日労働時間
- 対象期間の所定外労働時間
- 対象期間の法定外労働時間
- ※「対象期間の所定外労働時間」と 「対象期間の法定外労働時間」は 「残業時間計算の対象」の設定によって 計算ロジックが異なります。

6

本機能の詳細はこちらのリンクよりご確認ください >> 【新機能】「1年単位の変形労働時間制」に対応いたしました

オリジナル時間帯集計

パート・アルバイトの場合、早朝・日中・深夜等の時間帯ごとに勤務時間を集計し、それぞれの時間帯の時給をかけて給与計算を行うことがあります。機能改善により、会社で定めたオリジナルの時間帯ごとに勤務時間を集計することが可能となりました。(※時間帯は複数パターンの作成が可能)



本機能の詳細はこちらのリンクよりご確認ください >>【新機能】オリジナル時間帯集計機能をリリースしました

週44時間集計に対応

一般的には1週間あたりの労働時間が40時間を超えると割増賃金が発生しますが、特例措置対象事業場の場合は、44時間を超えたところから割増賃金が発生します。機能改善により特例措置対象事業場にも対応できるようになり、週44時間を超過した場合を残業として集計することが可能となりました。



本機能の詳細はこちらのリンクよりご確認ください >> 【新機能】特例措置対象事業場(週44時間集計)に対応いたしました

派遣先の勤怠データを自社(派遣元)勤怠へ自動反映

以前のHRMOS派遣管理では、派遣先と自社(派遣元)の勤怠が異なる場合は二重に勤怠登録する必要がありました。機能改善により派遣先の環境で記録した打刻データや勤怠データを、自社(派遣元)の勤怠に自動で反映するよう設定が可能になります。



本機能の詳細はこちらのリンクよりご確認ください >> 【新機能】派遣先の勤怠データを自社(派遣元)勤怠へ自動反映

9

クライアント先の勤怠データを自社の勤怠へ自動反映

以前のHRMOS契約・請求管理では、クライアント先の勤怠と自社の給与計算用の勤怠で二重に勤怠登録する必要がありました。機能改善により契約管理・請求書作成のための環境で記録した打刻データ・勤怠データを、自社の勤怠へ自動で反映できるようになりました。



本機能の詳細はこちらのリンクよりご確認ください >> 【新機能】クライアント先の勤怠データを自社の勤怠へ自動反映

完全週休2日制のフレックスタイム制に対応

完全週休2日制の事業場でフレックスタイム制を導入した場合、労使協定を締結することによって「清算期間内の所定労働日数×8時間」を労働時間の上限とする特例が適用されます。機能改善により、このような完全週休2日制のフレックスタイム制にも対応が可能となりました。



本機能の詳細はこちらのリンクよりご確認ください >> 【新機能】完全週休2日制のフレックスタイム制に対応しました

固定IPアドレスによるアクセス制限

あらかじめ登録しておいた会社等のネットワークの固定IPアドレス下でしかHRMOS勤怠にログインできなくなるよう、アクセス制限をかけることが可能になりました。

変更後の「勤怠承認」画面

固定IPアドレスによるアクセス制限の対象者を、「全体」と「システム管理画面のみ」から選択することができます。

クセス制限対象		
	○ 全体 ⑥ システム管理画面のみ	
IPアドレスに	よるアクセス制限がかかっています。	
ログインID		
パスワード	**************************************	

変更後の「月締状況レポート」画面

登録した固定IPアドレス下でログイン後、それ以外の固定IPアドレス下に移動した状態で打刻をしようとするとエラーになりま



本機能の詳細はこちらのリンクよりご確認ください >> <u>【新機能】固定IPアドレスによるアクセス制限機能をリリース</u>

システム管理者の「二段階認証」に対応

システム管理者権限のアカウントでログインする際には、ID・パスワードを入力するだけでなく「認証 コードの入力」も追加できるようになったため、よりセキュリティが強化され不正アクセスを防止でき るようになります。

認証コードをメールでお送りしました。メールに記載されてい
る認証コードを入力してログインしてください 認証コード 送信

本機能の詳細はこちらのリンクよりご確認ください >> 【新機能】システム管理者の「二段階認証」に対応

日次勤怠画面から派遣先(クライアント)担当者への申請が可能に

日次勤怠画面から、派遣先(クライアント)担当者への作業報告(日次勤怠・月締申請)を申請できるようになりました。請求書作成に利用する作業報告書を、派遣先(クライアント)担当者へ申請する際に、わざわざ左上ロゴメニューを「契約・請求」へ切り替える手間がなくなります。



本機能の詳細はこちらのリンクよりご確認ください >> 【新機能】日次勤怠画面から派遣先(クライアント)担当者への申請が可能に

2022年1月1日施行の改正電子帳簿保存法に対応

機能改善により、改正電子帳簿保存法の電子帳簿の保存要件を満たせるようになりました。電磁的記録による保存もできるようになるため、PDF形式等でデータを出力し別途保存しておく必要もありません。

新機能①取引金額・取引年月日・取引先で検索・絞り込みが可能に

検索項目に「取引金額」を追加したことにより、「日付」「金額」「取引先」を組み合わせて検索・絞り込みができるようになりました。



新機能② 契約内容や請求書などの変更履歴が残る機能を追加

契約内容や、取引先へ請求する売上請求書、フリーランサーへ発 行する支払通知書・仕入請求書などを変更した場合、その蓄積さ れた変更履歴を画面上で確認できるようになりました。



本機能の詳細はこちらのリンクよりご確認ください >> 【新機能】2022年1月1日施行の改正電子帳簿保存法に対応

HR从OS勤怠 ハーモス



by IEYASU

